

ISO/TC207 ニューデリー総会報告

1. 後藤委員による発表

- 発表委員会: SC4(環境パフォーマンス評価)全体会議
- 発表内容:「日本の環境パフォーマンス関連活動について」
 1. エコアクションの概要
 2. エコクリップの概要
 3. 結論



2. 各国エキスパートに対するヒアリング調査

- ヒアリング対象者
各国エキスパート(6カ国8名)
- 主なヒアリング結果
 - ISO14001の改訂内容について、エキスパートからの著しい懸念は確認されなかった。今回ヒアリングしたエキスパートが関心を示していた改訂ポイントは、LC思考やリーダーシップの関与等であり、今後、各国内での対応が検討事項となる。
 - ISO14001の補完、または中小企業におけるEMSの促進に向けたアプローチとして、欧州諸国の政府機関や地方自治体を中心に、独自の環境マネジメントシステムの推奨・導入が進んでいる。事業者の幅広い参加を求めたキーワードは環境と経済の両立であり、省エネや資源効率などにカ点を置くプログラムも多い。
 - サプライチェーン単位での環境パフォーマンスの向上も、主に欧州諸国において、主要なトレンドとして挙げられる。特に消費者からの要求による、下流企業を中心としたサプライチェーン規模での管理・情報開示及び環境パフォーマンスの促進が主な活動である。現状では、ISO14001や、各国独自のEMSプログラム等での対応が求められることが多い。